

ファームウェア更新時に、設定内容が変更される箇所についてのご注意

【変更される箇所】

ファームウェア更新時に、新機能「有線LANポートのメール認証設定」が追加されたことにより、下記の動作が変更されます。

旧ファームウェア (Ver 3.00_5.01)

・FS-G300Nの有線LANポートはメール認証機能が**動作**します

新ファームウェア (Ver 3.10_1.23ベータ版)

・FS-G300Nの有線LANポートが、メール認証機能が有効/無効の選択式となり、初期値が**非動作**となります

【変更したくない場合は】

もし有線LANポートのメール認証機能の動作を変更したくない場合は、下記の設定を行ってください。

- (1) 設定管理画面の [FREESPOT] - [LAN] において、「有線LANポートのメール認証機能設定」で、「使用する」を選択してください。
- (2) 「設定」ボタンを押してください。

The screenshot shows the Buffalo AirStation web interface for the FS-G300N model. The navigation menu includes: TOP, Internet/LAN, FREESPOT, 無線設定, セキュリティ, ゲーム&アプリ, 管理設定, ステータス. The 'LAN' menu item is selected, showing sub-items: マルチSSID, LAN, 管理者情報, QoS, プライバシーセパレータ, トリガーフィルター, SPAMメール, アクセスタイムコントロール, ログアウト.

The main content area is titled '有線LANポートのメール認証機能設定' (Wired LAN Port Mail Authentication Setting). It contains a 'メール認証' (Mail Authentication) section with two radio buttons: '使用する' (Use) and '使用しない' (Do not use). The '使用する' option is selected and circled in red. Below the radio buttons is a '設定' (Settings) button.

On the right side, there is a 'FREESPOT-LAN設定' (FREESPOT-LAN Setting) section with explanatory text: 'FREESPOTにおけるLANポートに関する設定を行います。' (Configure LAN port settings in FREESPOT.) and '有線LANポートのメール認証機能設定' (Wired LAN Port Mail Authentication Setting) with detailed instructions: '有線LANポートに接続した機器に対してメール認証機能を使用する・使用しないを指定します。有線LANポートにBRIDGEモードFREESPOTを接続した場合には、BRIDGEモードFREESPOTに接続した全ての機器が有線LANポートに接続された機器とみなされ、本設定(メール認証機能の使用有無)が適用されます。初期値は、[使用しない]です。'

At the bottom of the page, the copyright notice reads: (C)2000-2009 BUFFALO INC. All rights reserved.